

転倒災害を防ぐために!!

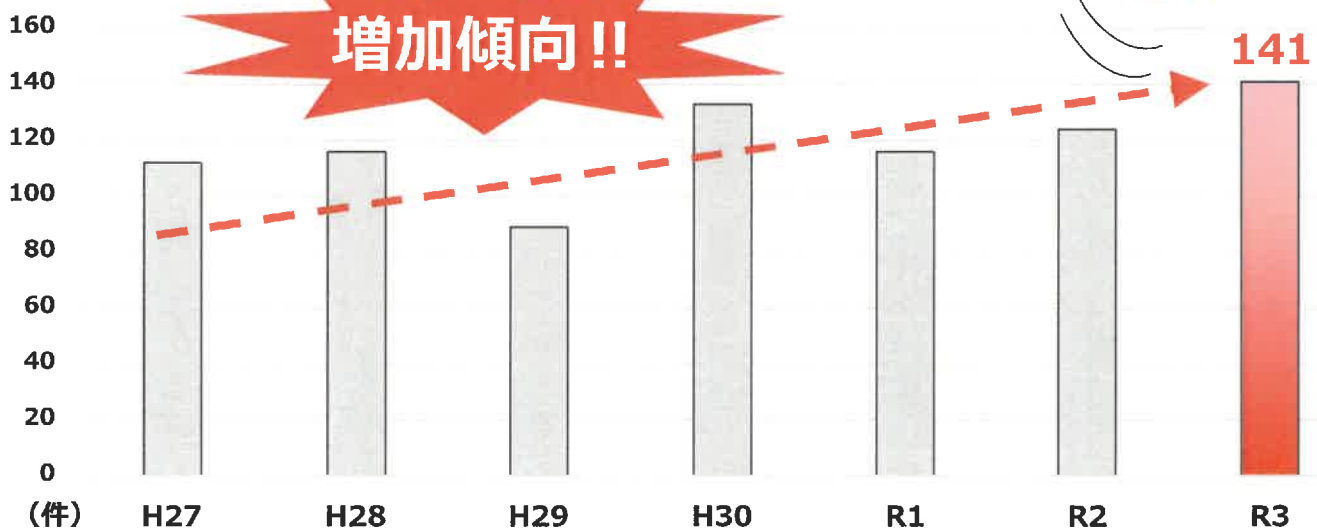
転倒労働災害の現状

STOP! 転倒災害
プロジェクト

栃木労働基準監督署管内の令和3年における休業4日以上**死傷者数**は、578件（新型コロナウイルスり患者数除く）件であり、そのうち転倒災害で負傷した人数は141人と、**転倒災害だけで全体の約4分の1**を占めているほか、令和4年に入ってから**は災害件数が減少するどころか、転倒災害による死亡事故も発生**しており、**大変憂慮すべき状況**にあります。



全産業における転倒災害発生件数 【栃木監督署管内】



転倒労働災害の防止に向けて！いま一度 チェック！！

- ライン引きなどにより、安全通路が確保されていますか？
- 4S（整理・整頓・清潔・清掃）活動を行っていますか？
- 作業開始前に準備運動などを行っていますか？
- 安全な歩行ルールを定めて、安全衛生教育を実施していますか？
- 滑りやすい場所では、耐滑性のある靴を履かせていますか？
- 転倒危険個所について、危険マップを作成し、周知していますか？
- 危険マップで特定された危険個所の「見える化」を図っていますか？



いま一度これらの項目を確認し、効果的な労働災害防止活動の取組により、**転倒災害防止**を図られるよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

転倒災害事例 その1 凍結した地面で転んで頭を打ち死亡！！

| 業種 | 発生状況 |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 燃料小売業 | 早朝、被災者は店舗敷地内（屋外）を歩いていたところ、路面が凍結していたため、尻もちをつくように転び、転んだ際に頭部を地面に強打して死亡した。（令和4年発生） |
| 被災者の年代・性別 | |
| 50代・男性 | |
| けがの程度 | |
| 死亡 | |



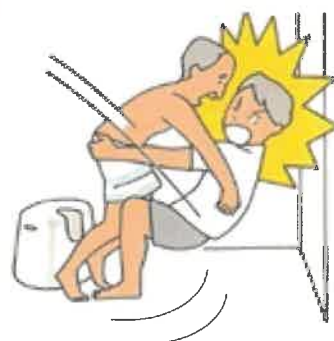
転倒災害事例 その2 通路上に置いてあった台車につまづき転倒！！

| 業種 | 発生状況 |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------|
| 食料品製造業 | 急いでいた被災者は、小走りで通路を移動していたところ、通路上に置かれていた台車に気がつかず、台車につまづいて転倒してしまい、肩を強打して骨折した。 |
| 被災者の年代・性別 | |
| 60代・男性 | |
| けがの程度 | |
| 骨折・2か月 | |



転倒災害事例 その3 利用者と支えようとして滑り転倒！！

| 業種 | 発生状況 |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------|
| 社会福祉施設 | 被災者は利用者の脱衣を見守りながら入浴準備をしていたところ、利用者がふらつき、急いで支えようとしたため、マットの上で滑って転倒し、足首を捻挫した。 |
| 被災者の年代・性別 | |
| 40代・女性 | |
| けがの程度 | |
| 捻挫・2か月 | |

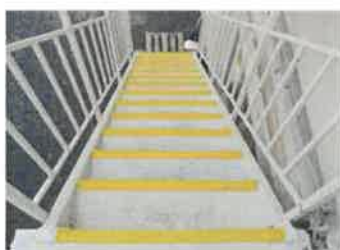


◆転倒災害防止に向けた取り組みの一部◆

STOP! 転倒災害
プロジェクト



(転倒防止ステッカー)



(段差の見える化)



(耐滑性に優れた靴)



これだけ体操 など

厚生労働省のホームページ上で「転倒・腰痛予防！いきいき健康体操」を紹介しています。

チェック!

いきいき健康体操

検索